

五分のぬけ道



次良丸 忍
作・絵

「ああこっちだ。あのコココーラの自動販売機、見おぼえある」

細い道の交差点。すずしげにわらってベンはいったけど、もうそんな言葉は信じない。

「あれのどかがコココーラなんだよ。でっかい字でポカリスエットってかいてあるだろ」

「あーそうそう、似てっからまちがえた」
「どかが、似てるんだよ」

ぼくがチェットというと、ベンはブツとおならをした。タ
イミング良すぎ。

まったくこいつの相手をしていると、腹たてるのさえバ
カバカしくなってくる。

「今日はベンのせいで、マジそんしたよ」

「そんなことないっしょ。ホワイトピカチュー見られたじ
ゃん」

ぼくは、得意げに語るベンのだんごっ鼻にむかって、ふ